

■製品仕様

項目		仕様
接続可能リーダライタ	メーカー	NITTOKU株式会社製
	アンテナ分離型	ITS-HRW110
	ファームウェアバージョン	"2.76"以降
接続可能台数		1/2/4台
アンテナインタフェース仕様		RS-485準拠
通信方式		半二重
伝送速度		9,600/19,200/38,400/57,600/115,200/230,400 (bps)
伝送距離		総延長600m (接続ケーブルがAWG20のとき)
外部インタフェースコネクタ		2ピーススプリングクランプ端子台
絶縁	絶縁方式	インタフェース部-シーケンサ電源間:デジタルアイソレータ
	絶縁耐圧	AC500V 1分間
	絶縁抵抗	DC500V絶縁抵抗計にて5MΩ以上
入出力占有点数		32点
データ転送量		最大8,192バイト
内部電源消費電流DC5V (シーケンサ内部より給電)		0.33A
終端抵抗		120Ω (内蔵、有効/無効設定可能)
外部寸法	高さ	106mm (ベースユニット取付部 98mm)
	幅	27.8mm
	奥行き	125mm (端子台含む)、110mm (端子台含まず)
質量		200g

■機能一覧

No.	機能		内容	
1	RUNモード	コマンド	リード	RFタグからデータを読み出します。
2			ライト	RFタグへデータを書き込みます。
3			データフィル	指定したデータでRFタグのデータを初期化します。
4			UIDリード	RFタグのUID (個別識別番号)を読み出します。
5			DSFID+UIDリード	RFタグのDSFID+UIDを読み出します。
6			リーダライタ接続確認	リーダライタとの接続確認を行います。
7	RUNモード	通信指定	トリガ	RFタグをアンテナ通信領域内に停止させた状態で命令実行要求をすると、RFタグと通信し結果を出力します。
8			オート	RFタグがアンテナの通信領域内に入ってくると自動的にRFタグとの通信を開始し結果を出力します。
9	RUNモード	オプション機能	通信速度 ^{*1}	リード/ライト/フィルコマンド実行時の通信速度を選択します。
10			ライトベリファイ	ライト/データフィルコマンドによるRFタグへの書き込み後に読出しを行い照合することで、書き込みデータを保証します。
11			UIDマスク指定	指定したUIDを持つRFタグと通信を行いません。
12			RSSI閾値指定	指定したRSSI値を満たしている場合のみ通信します。
13			RSSI値取得	コマンドを実行した際のRSSI値を取得します。
14	テストモード		リーダライタ接続確認テスト	チャンネル1~4で有効にしたチャンネルに対してリーダライタ接続確認コマンドを実行します。
15			リードテスト	チャンネル1~4で有効にしたチャンネルに対してテスト時処理点数で指定したバイト数分、リードコマンドを実行します。
16	リーダライタ設定モード		リーダライタ設定	リーダライタに設定値を書き込みます。
17	その他		処理時間取得	実行したコマンドの処理時間を取得します。

*1: ER-1CM1NT-01のみ選択可能です。ER-1CM1NT-02、ER-1CM1NT-04は常に有効になっています。